

フラワータウン駅前 社会実験報告書

～持続可能なセンター地区の賑わい創出に向けた検証～

令和8年9月3日
三田市都市デザイン課

目次

□ 社会実験報告書 本編

- 1 社会実験の背景と課題
- 2 社会実験の実施体制
- 3 検証した「4つの仮説」
- 4 プログラム実施状況
- 5 日常利用状況
- 6 エキマエアキチで確認された効果
- 7 社会実験から見てきたこと

□ 資料編

- ・ エキマエアキチイベント実績
- ・ イベント詳細
- ・ 日常利用者数
- ・ 前期ヒアリング
- ・ 後期ヒアリング
- ・ 運営者ヒアリング

1 社会実験の背景と課題

🗿 人口減少・少子高齢化

地区全体の活力低下に伴い、センター地区における賑わいが減少傾向にある

🏠 滞留・交流場所の不足

センター地区において、住民が気軽に立ち寄り、長時間滞在できるパブリックスペースが少ない

🔄 回遊性の課題

各施設が区画や道路で分断されており、徒歩による施設間移動や連続的なアクティビティが発生しにくい

🏠 活動・交流拠点の不足

子どもからシニアまで、多世代が日常的に活動・交流できる拠点が不足している

目指すセンター地区の姿

「人が集まり、人が活動し、

その活動が次の活動を生み出す持続可能なエリア」

オープンな居場所



誰もが立ち寄れる
自由な空間の創出



交流・滞留



活動の可視化と
新たなコミュニティ



施設間の回遊



歩きたくなる
ネットワークの形成



新たな賑い



持続可能な
エリア価値の向上

2 社会実験の実施体制

A ハード・インフラ提供

企業庁

社会実験フィールドとしての土地提供

三田市

社会実験に対する各種補助、支援

(株)北摂コミュニティ開発センター

社会実験施設（エキマエアキチ）整備・管理・運営

B プログラム運営

各市民団体・事業者等

主要プログラム（探求学習、不登校支援、相談拠点等）の実施

人と自然の博物館

専門的知見に基づくプログラム実施支援・連携

(株)北摂コミュニティ開発センター

イベント企画の伴走支援、コーディネート、全体マネジメント

施設整備内容（エキマエアキチの概要）

整備概要

施設名称：エキマエアキチ

所在地：三田市弥生が丘1丁目8番

面積：約4,000㎡

利用期間：R6.11.3～R8.9.30

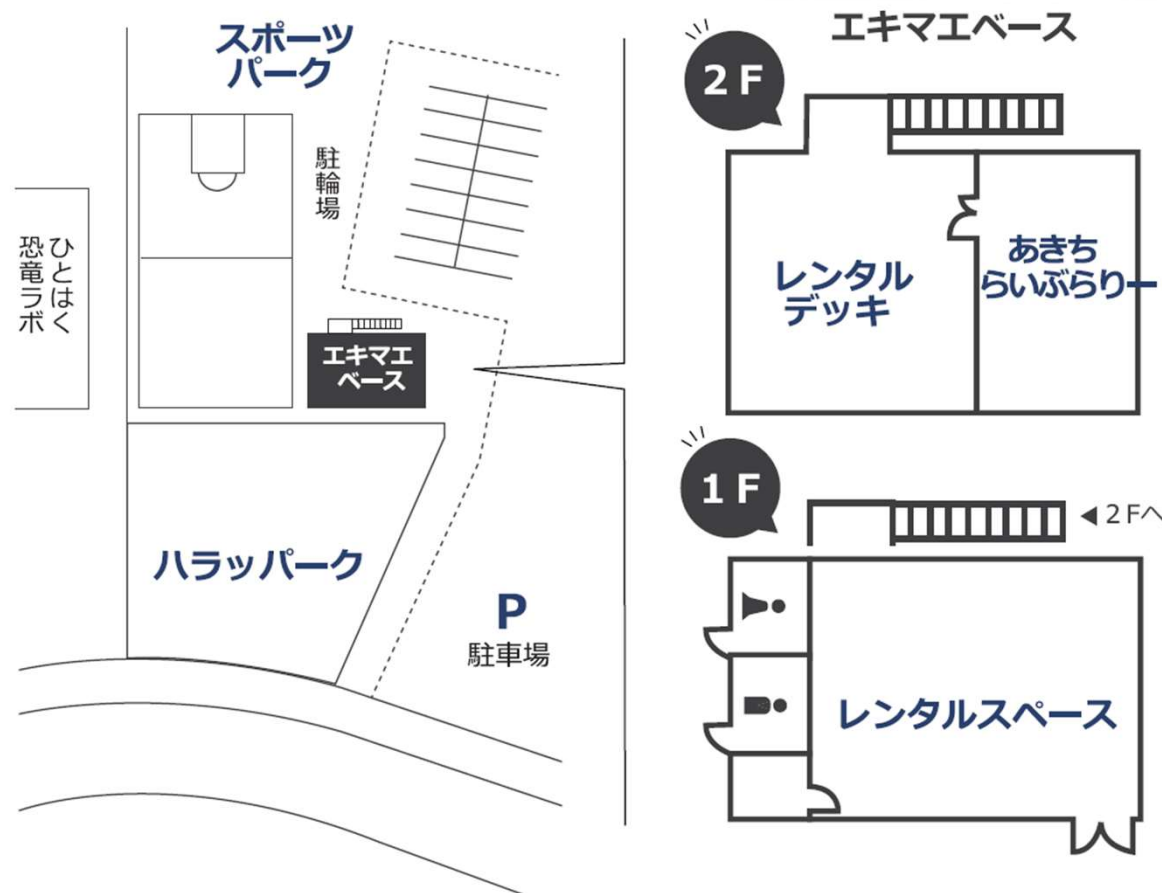
整備内容：センター施設「エキマエベース」124㎡

スポーツ広場「スポーツパーク」605㎡

芝生広場「ハラッパーク」605㎡

時間貸駐車場 2,700㎡

施設配置図



ロゴデザイン



位置図



施設整備内容（エキマエアキチの主要機能）



ハラッパーク

誰でも自由に使えるオープン空間



スポーツパーク

3x3やBMX等の若者向けスポーツ拠点



エキマエベース

多世代交流・プログラム実施の拠点

3 検証した「4つの仮説」

仮説 01

オープンスペースの整備

オープンスペースを整備することで、意図的な仕掛けがなくても人が自然に滞留し、日常的な賑わいが生まれるか。

仮説 03

まちづくりへの参加促進

オープンスペース利用の規制緩和や施設使用料の減免等によりまちづくりへの参画が促進されるか。

仮説 02

特定機能の誘引力

各種プログラムやバスケットコートなどの特定の機能が、センター地区へ来訪する「動機」になり得るか。

仮説 04

周辺地域への回遊性

エキマエアキチでの滞留や交流の発生は、深田公園をはじめとする周辺施設への回遊行動につながるか。

実施プログラム



DigDig

面白い大人から学ぶ「探究学習」
放課後の新しい居場所

月曜日・水曜日



ひまわりの森

学習支援・不登校支援
地域のセーフティネット

金曜日



みかづき

無料の学習支援
子どもの自立を地域で支える、
学びのサポート

水曜日



喫茶プシューケー

「喫茶を装った相談場所」
日常の悩みや課題を解消する
心の保健室
水曜日



あきちらいぶらりー

私設図書館
登録パートナーがWSや物販を
行う自己実現と交流の場
2階・月曜日～金曜日



イベント

新たな賑わい創出
賑わいや交流を生み出す
様々なイベントの企画・実施
不定期開催

4 プログラム実施状況

ヒアリング調査の抜粋



DigDig

- ・子ども達にもっと経験や体験を与えていきたい
- ・放課後の子どもたちに「居場所」を提供できており、そこが「交流」の場になっている

□月利用平均 約60人（週2回開催）



ひまわりの森

- ・不登校の子どもだけでなく、その親にも居場所を作れた
- ・子どもたちにとって行きやすい場所であり、保護者にとって利用しやすい環境を用意できたらしい

□月利用平均 約25人（週1回開催）



みかづき

- ・定期的を開催することで、子どもたちに居場所を提供できた
- ・エキマエアキチは芝生やバスケットコートがあり、子どもたちが色々な目的をもって訪れている。そのため、多様な属性の子が集まる場所になっていると感じる。

□月利用平均 約25人（週1回開催）



喫茶プシュケー

- ・プシュケーをきっかけに、交流の場が広がっている
- ・口コミで広がり多くの人と繋がることができている
- ・プシュケー（相談場所）の存在を広げていきたい

□月利用平均 約40人（週1回開催）



あきちらいぶらりー

- ・友達や、知り合いとの新しい出会いが増えた。
- ・交流の場として利用したいと思いパートナー登録を行った。
- ・あきちらいぶらりーを訪れる人に楽しんでもらいたい。

□プレイヤー登録者数 20人

イベント実施状況 (令和6年11月～令和8年5月)

エキマエアキチでのイベント (抜粋)

令和6年11月 **エキマエアキチ社会実験開始**
 わんにゃんフェスタ
 とっておきの音楽祭り
 12月 クリスマスエキマエマーケット
 令和7年 2月 ナイトミーティング
 節分祭
 3月 いきいき百歳体操開始 (毎週水曜日)
 エキマエアキチへのキッチンカー誘致 (R7.6まで)

クリスマスエキマエマーケット



ナイトミーティング



エキマエアキチキッチンカー誘致



令和7年 5月 アキチでナイト開始
 ひらくマーケット開始
 ナイトミーティング
 6月 アキチで朝市 (野菜販売) 開始
 7月 セタまつり
 地域食堂「食堂おはな」開始 (毎月最終水曜日)
 8月 夏祭り
 10月 三田わんわんフェス
 11月 フラワータウンフェスタ2025
 令和8年 3月 自転車交流会

アキチでナイト



アキチで朝市



食堂おはな



令和8年 4月 WARMSTREET (アーバンスポーツイベント)

イベント来場者数実績

約47,000人 ※延べ人数

イベント実施回数

約200回

来場者数上位イベント

- ① フラワータウンフェスタ2025 (R7.11.3) 約6,000人
- ② わんにゃんフェスタ (R6.11.17) 約3,000人
- ③ とっておきの音楽祭/大人の学園祭 (R7.11.30) 約2,500人

5 日常利用状況（令和6年11月～令和8年5月）

□スポーツパーク利用状況

延べ 約**14,000人** 平均平日利用者 **20～30人**



□ハラップーク利用状況

平均平日利用者 **30～40人**



- ・ こどもから大人まで多様な属性が利用
- ・ 特に平日の夕方は、小学生・中学生・高校生の居場所として賑わいを見せました

エキマエアキチ利用者へのアンケート結果（主な意見）



若者・学生

回答者数：131人

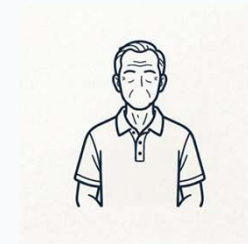
- ・みんなで集まれて楽しい
- ・いろんな人と関わるところ
- ・バスケットを通して地域の人との関わりが増える
- ・気軽に友達と集まれるところ



子育て世代

回答者数：95人

- ・大人の目が届いている
- ・普段関わらない大人とも交流できる
- ・小学校高学年から高校にかけて一気に外での居場所が無くなる
- ・中学校の部活がなくなったときの居場所になっている



大人・シニア

回答者数：62人

- ・異世代交流により刺激ももらえた
- ・勉強ができるお年寄りが若い子の勉強をみたり、遊び相手になるみたいな場所でも良い

6 エキマエアキチで確認された効果

子ども同士の自然な遊びの発生

- ・初めて知り合った子と友達になった
- ・違う中学の子と仲良くなることができた

※利用者アンケートより

小学生・中学生・高校生のサードプレイス化

- ・友達に会いにエキマエアキチに来ている
- ・放課後は学校にいられないので、エキマエアキチができてうれしい

※利用者アンケートより

利用者と運営者の自発的な交流

- ・運営者(COMS)を通じて色んな人とつながることができる
- ・運営者(COMS)がいるため利用している

※利用者アンケートより

市民団体・事業者の活動フィールドの拡大

- ・やってみたいと思っていたことを実現することができた
- ・イベントを主催することができた

※利用者アンケートにより

交流を通じた新たな活動の広がり

- ・人の滞留や交流が、飲食や販売などの事業活動につながった
- ・交流と事業活動が同じ空間で生まれる、公園とは異なる使われ方が見られた

※関係者ヒアリングより

イベント時以外の日常利用の定着

平日利用者数

- ・スポーツパーク：20～30人
- ・ハラッパーク：30～40人

※日常利用者観測より

周辺施設との回遊の発生

- ・周辺のコンビニやサンフラワーとの往来が多く見られた

※関係者ヒアリング・日常利用者観測より

7 社会実験から見てきたこと

01 目的の明確な施設や活動が来訪を促進する

02 自由に利用できるオープンスペースが自然な滞留と交流を生む

03 自由度の高い空間や低廉な使用料等ハードルを下げることで、まちづくりへの参画を促進する

04 活動の「見える化」が次の活動と呼ぶ循環を生む

05 滞留や交流の増加は回遊性向上につながる

06 持続可能な賑わいを生むには活動のコーディネートや伴走支援を担うエリアマネジメント組織が必要

資料編

■ エキマエアキチイベント実績

■ イベント詳細

■ 日常利用者数

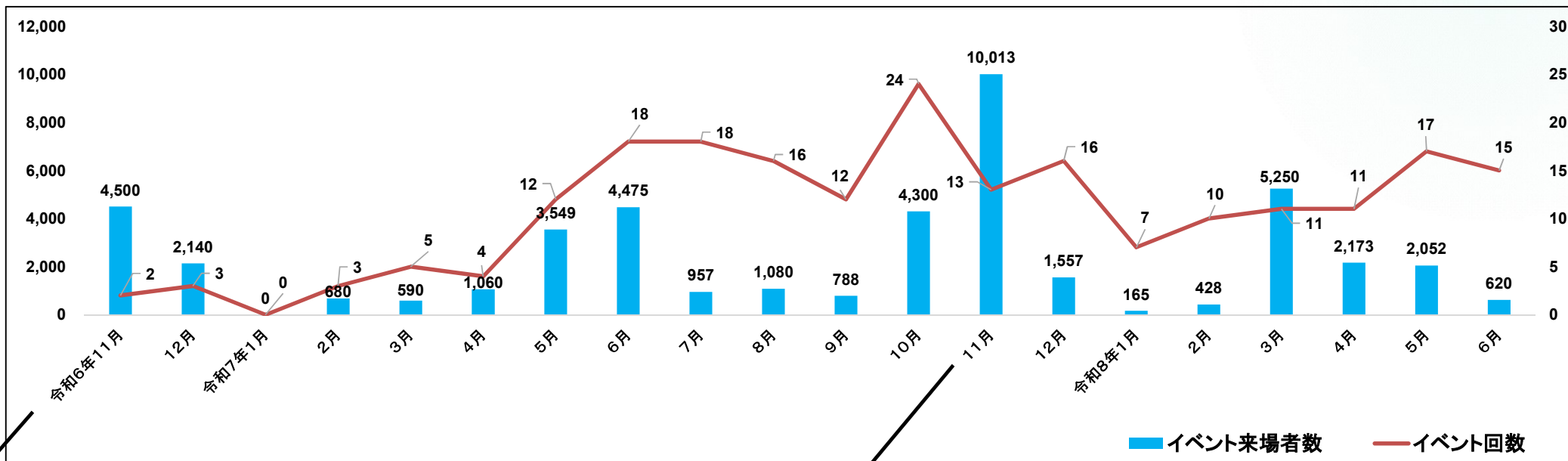
■ 前期ヒアリング

■ 後期ヒアリング

■ 運営者ヒアリング

エキマエアキチイベント実績 (令和6年11月～令和8年6月)

□ イベント来場者数：約47,000人（延べ人数） イベント実施回数：約200回



エキマエアキチ社会実験開始

フラワータウンフェスタ2025

大規模なイベントだけでなく、朝市や地域食堂など、定期的な小規模イベントも開催されました。行政や施設運営者がすべてを企画するのではなく、エキマエアキチで行われている活動を知った人が、「自分もここで何かやってみたい」と新たな企画を持ち込む動きも生まれました。

また、イベントによる賑わいは、飲食や販売などの事業活動にもつながり、交流と事業活動が同じ空間で展開されました。

このことから、活動が日常的に見える環境と、企画を受け入れる柔軟な運営体制が、新たな担い手の参加を促したと考えられます。単発のイベントで終わるのではなく、一つの活動が次の活動呼び、人の交流が新たな企画や事業活動へと広がる循環が生まれたことは、エキマエアキチの大きな効果と考えられます。

イベント詳細

令和6年度実績

令和6年 11月 エキマエアキチ社会実験開始

わんにゃんフェスタ：3,000人

とっておきの音楽祭り：1,500人

12月 やってみたいマルシェ：90人

自転車道場：50人

クリスマスエキマエマーケット：2,000人

令和7年 2月 ナイトミーティング：150人

マツダプレゼント分祭：500人

DigDigオニと遊ぼう：30人

3月 やってみたい広場：50人

エキマエアキチへのキッチンカー誘致（平日の昼）：340人

ウォーキングスタンプラリー：150人

BMX練習会：30人

ベイベレード好き集まれ：20人

クリスマスエキマエマーケット



ナイトミーティング



エキマエアキチキッチンカー誘致



自転車道場



イベント回数：13回 来場者数：7,910人（延べ人数）

イベント詳細

令和7年度実績 (1/2)

令和7年 4月 エキマエアキチへのキッチンカー誘致（平日の昼）：210人

ひらくマーケット：670人

やってみたい広場：170人

スポーツパーク貸し切りバスケット：10人

5月 エキマエアキチへのキッチンカー誘致（平日の昼）：220人

ひらくマーケット：2,500人

やってみたい広場：135

いきいき百歳体操(4回)：80人

kickMeeting：12人

アキチでナイト：306人

ひまわりマルシェ：90人

地域食堂「おはな」：38人

ナイトミーティング：168人

6月 エキマエアキチへのキッチンカー誘致（平日の昼）：100人

ひらくマーケット：2,500人

防災と交通：300人

やってみたい広場：135人

いきいき百歳体操(4回)：80人

アキチで朝市(3回)：300人

6月 フレイル予防教室：20人

アキチでナイト：800人

癒しマルシェ：50人

BMX練習会：50人

地域食堂「おはな」：50人

交通安全講座：20人

ひまわりマルシェ：70人

7月 いきいき百歳体操(5回)：58人

アキチで朝市(5回)：100人

七夕イベント：280人

やってみたい広場：15人

アキチでナイト(2回)：346人

ひまわりマルシェ：50人

BMX講習会：40人

地域食堂「おはな」：50人

アキチ寄席：18人

8月 御朱印まちめぐり：52人

やってみたい広場：71人

いきいき百歳体操(4回)：80人

8月 アキチで朝市(4回)：60人

アキチで花火：210人

夏祭り：230人

BMX講習会：30人

smileマルシェ：300人

地域食堂「おはな」：41人

スケボー教室：6人

9月 御朱印まちめぐり：90人

いきいき百歳体操(4回)：60人

あきち寄席：20人

san三ichi：300人

手芸サークル：3人

アキチでナイト：200人

セラピーサークル：5人

地域食堂「おはな」：55人

BMX練習会：55人

アキチで朝市



アキチで花火



イベント詳細

令和7年度実績 (2/2)

10月 いきいき百歳体操(5回) : 75人

ひらくマーケット : 1,500人

スケボー教室 : 20人

アキチサークル(5回) : 5人

アキチで朝市(4回) : 160人

アキチでナイト(2回) : 400人

ベンチプレスイベント : 20人

ペットイベント(商工会) : 2,000人

ジムニーイベント : 20人

アキチ寄席 : 15人

癒しマルシェ : 40人

地域食堂「おはな」 : 45人

11月 フラワータウンフェスタ2025 : 6,000人

いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチで朝市 : 120人

アキチサークル : 8人

交流ひろば : 30人

11月 アキチでナイト(2回) : 550人

エキマエこどもDAY : 200人

スケボー教室 : 25人

とっておきの音楽祭/大人の学園祭 : 3,000人

12月 アキチで朝市(4回) : 120人

いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチ寄席 : 20人

ひらくマーケット : 1,000人

スケボー教室 : 30人

まちの健康診断イベント : 200人

マニアックシリーズ : 3人

アキチサークル : 4人

癒しマルシェ : 50人

BMX教室 : 50人

令和8年 1月 いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチサークル : 5人

スケボー教室 : 30人

1月 BMX教室 : 50人

2月 いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチ寄席 : 18人

うどんDEサンバ : 10人

あつまれシール交換会 : 200人

BMX練習会 : 50人

スケボー教室 : 30人

地域食堂「おはな」 : 40人

3月 いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチ春マルシェ : 15人

ウォーキングスタンプラリー : 200人

アキチ寄席 : 40人

チア体験会 : 30人

BMX練習会 : 50人

地域食堂「おはな」 : 50人

能登炉端 : 4,785人

食堂おはな



フラワータウンフェスタ2025



イベント回数 : 161回 来場者数 : 33,622人 (延べ人数)

イベント詳細

令和8年度実績

令和8年 4月 いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチサークル : 3人

アキチマーケット : 200人

san三ichi : 500人

癒しマルシェ : 40人

WARM STREET : 1,000人

地域食堂「おはな」 : 50人

アキチでナイト : 300人

5月 いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチで朝市(4回) : 50人

ひらくマーケット : 1,500人

地域食堂「おはな」 : 50人

プラレールイベント : 20人

sanda natural picnic : 100人

5月 アキチでナイト : 100人

アキチ寄席 : 17人

BMX練習会 : 50人

皐月オフ : 35人

スケボー練習会 : 50人

6月 いきいき百歳体操(4回) : 80人

アキチで朝市(4回) : 50人

アキチマーケット : 50人

癒しマルシェ : 50人

まなびちつく : 120人

パルクール体験会 : 20人

地域食堂「おはな」 : 50人

BMX練習会 : 50人

スマイルマルシェ : 150人

アキチサークル



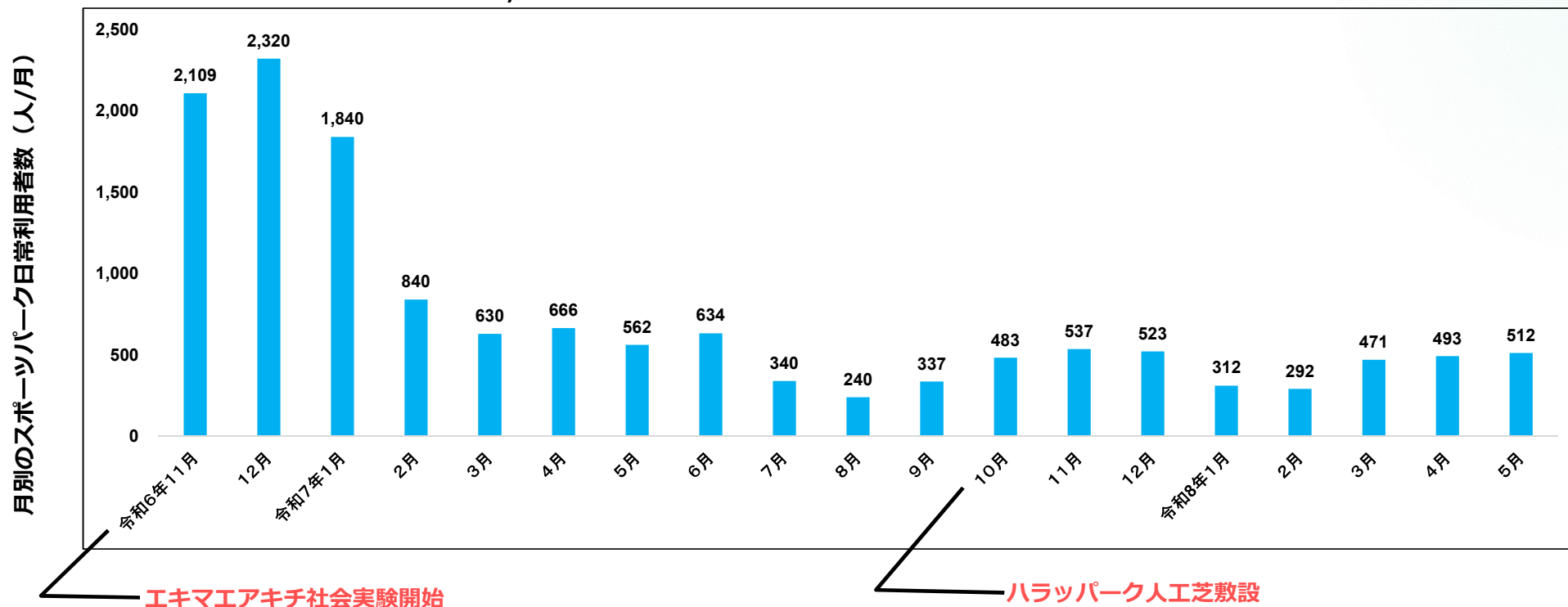
san三ichi



イベント回数 : 43回 来場者数 : 4,845人 (延べ人数)

日常利用者数（令和6年11月～令和8年5月）

□スポーツパーク利用者数：約14,000人（延べ人数）



平日の平均利用者数は、スポーツパークで20～30人、ハラッパークで30～40人でした。また、ハラッパークでは、人工芝の整備後、16時以降の小中高生の利用が増加し、放課後の居場所として機能していることが確認されました。さらに、子ども同士の自然な交流も生まれており、異なる学校の子どもがエキマエアキチで初めて出会い、友達になったという声も聞かれました。

これらのことから、エキマエアキチは、学校や家庭とは異なる第三の居場所として、日常的な滞在と新たなつながりを生むサードプレイスの役割を果たしたと考えられます。

前期ヒアリング

【実施期間】

令和7年6月から令和7年8月

【実施目的】

エキマエアキチの社会実験開始から約半年が経過した時点での現状把握のため、利用者を対象としたヒアリング調査を実施しました。

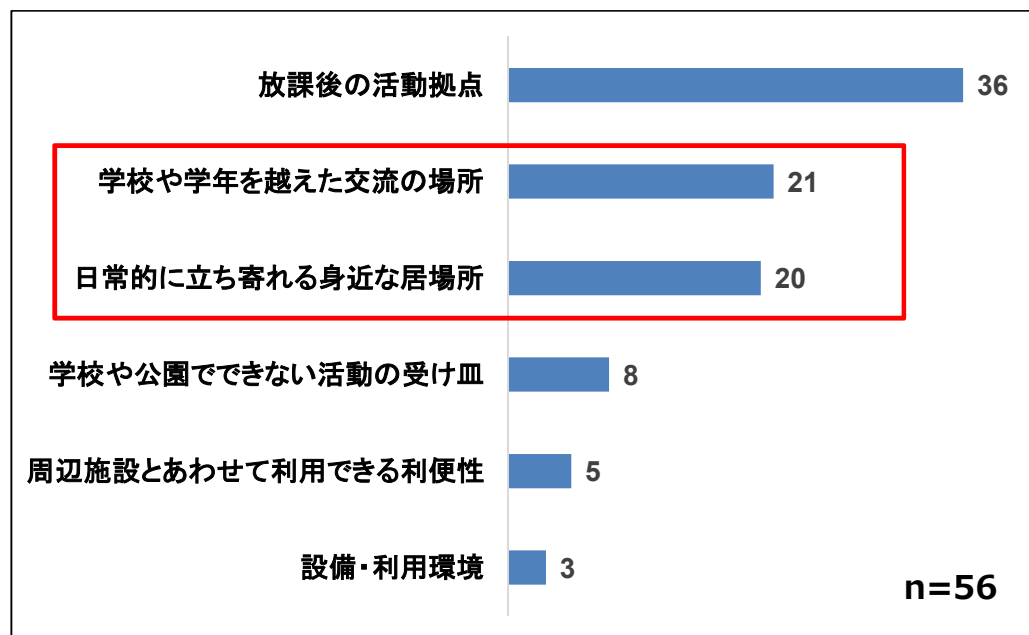
【ヒアリング対象者】

- ・若者世代（スポーツパーク利用者）：56人
- ・子育て世帯（エキマエアキチ・車池公園利用者）：26人
- ・シニア世代（いきいき百歳体操・野菜市利用者）：29人
- ・エキマエベース利用者（社会実験プログラム・イベント主催者・あきちらいぶらりー利用者）：16人

計127人

若者世代（スポーツパーク利用者）

【エキマエアキチについて】（自由記述ジャンル分け）



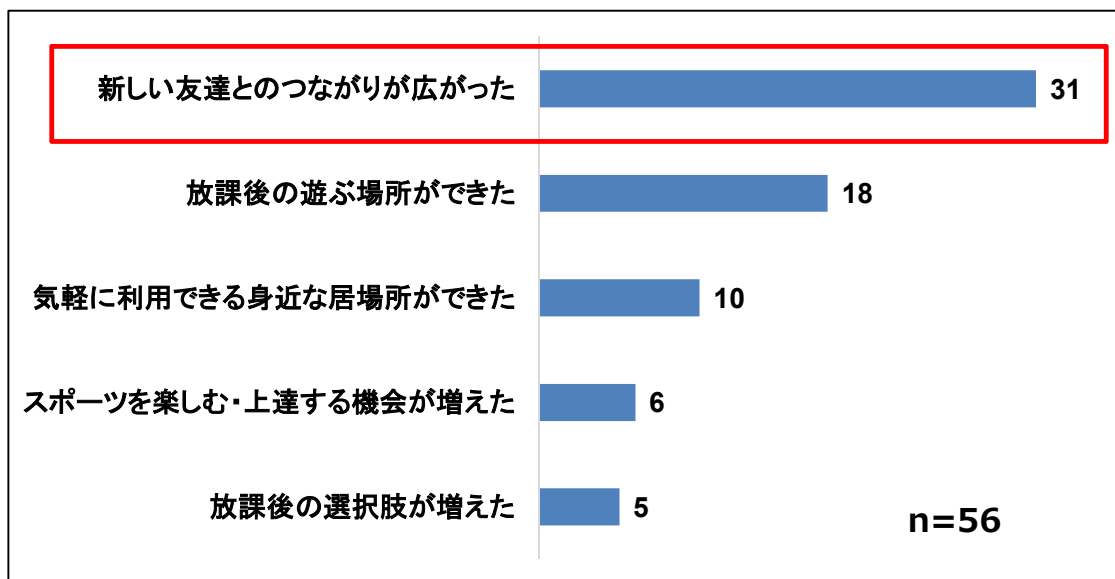
主な意見

- ・初めて知り合った子と友達になった。違う中学のこと仲良くなることができた。
- ・放課後学校ではバスケの練習ができない。練習の場所ができてとてもうれしい。
- ・小学生と仲良くなり一緒にバスケしている。（高校生回答）
- ・今の時代、公園ではインラインスケートができない。エキマエアキチでは、堂々とできるのがうれしい。

スポーツや遊びができる環境を整備したことで、学校や公園では活動しにくい子どもたちの放課後の活動機会の拡大につながっていることや、スポーツをきっかけに学校や学年を越えた交流が生まれ、日常的に友達と集まる居場所としても機能していることがわかる意見が多く見られました。

若者世代（スポーツパーク利用者）

【ここに来てよかったこと】（自由記述ジャンル分け）



主な意見

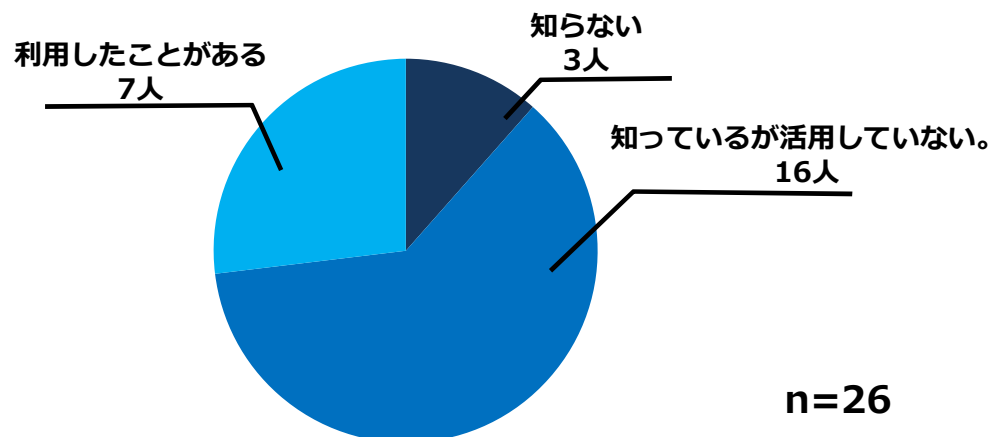
- ・今まで知らなかった人と友達になった。違う中学の子とバスケしている。
- ・友達の輪が広がった。
- ・バスケやインラインなど他ではできない遊びができる。
- ・バスケがうまくなった。
- ・これまで友達と外で遊ぶ場所なかった。できてうれしい

友達と集まり、**新たなつながりが生まれる日常的な居場所**として機能していることがわかる意見が多く見られました。

外で遊ぶ場所が限られていた子どもたちにとって、学校や学年を越えた交流の増加や、放課後の過ごし方の変化が見られます。

子育て世帯（エキマエアキチ・車池公園利用者）

【エキマエアキチの利用状況】（自由記述ジャンル分け）



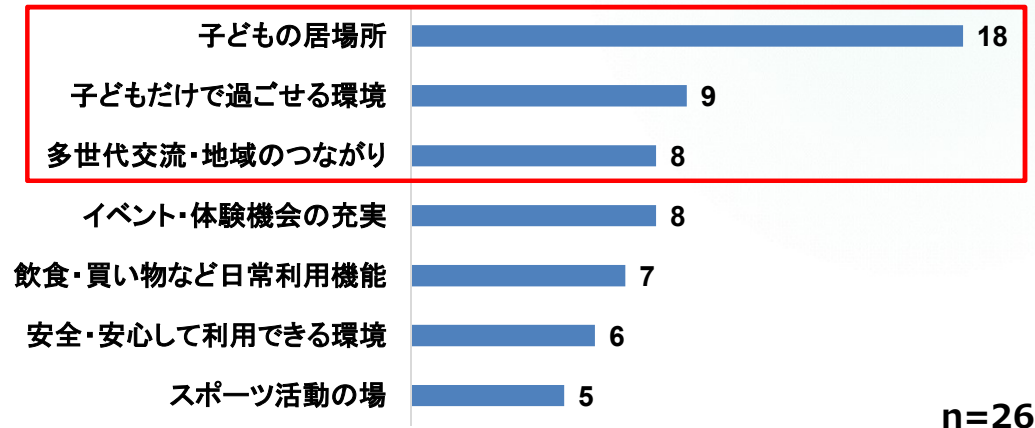
利用した理由

- ・ イベントやマルシェをきっかけに利用
- ・ 子どもの活動場所として利用
- ・ 駅前立地による利用しやすさ
- ・ 地域の交流・にぎわいへの期待

利用していない理由

- ・ センター地区まで遠い
- ・ 子どもの年齢や利用目的が合わない

【センター地区への今後の期待】（自由記述ジャンル分け）



主な意見

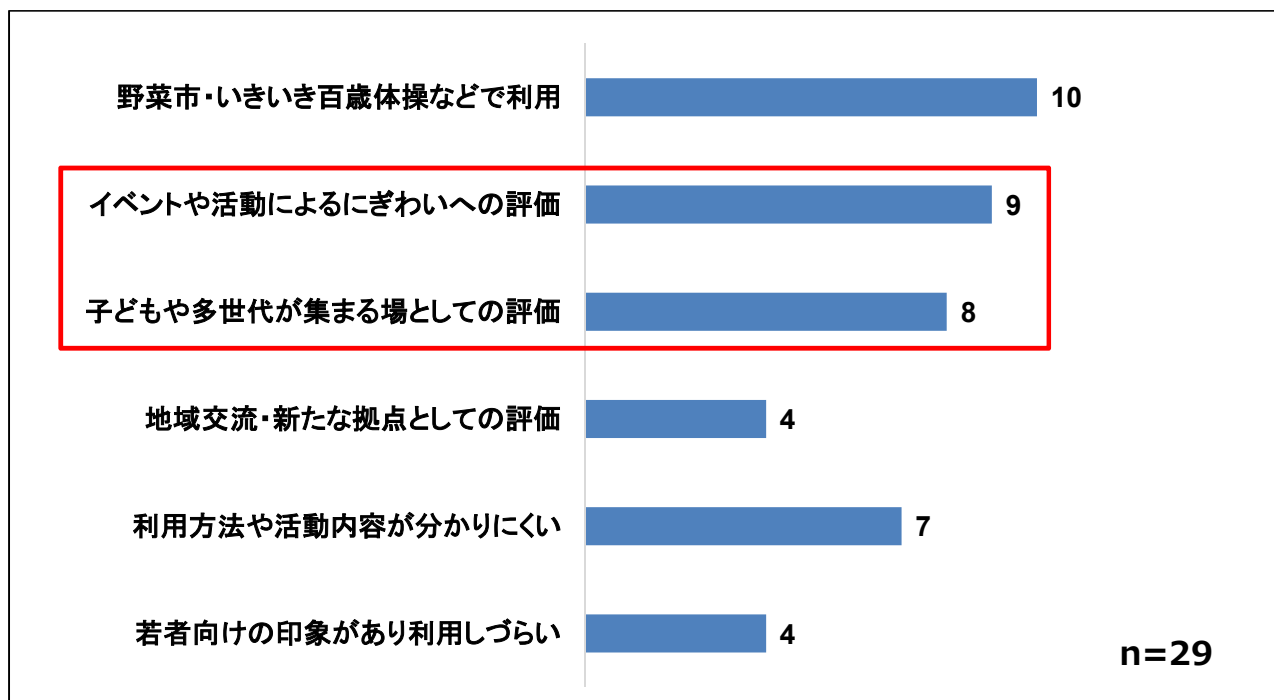
- ・ 子どもが安心して安全に遊べる場所が欲しい。
- ・ 中学校の部活がなくなった際にみんなが集まることができる場所。
- ・ 子どもたちだけで「安心して」過ごせる施設があれば親の負担が減ると思う。
- ・ 子ども、高齢者、ファミリーが混ざってつながりを持てる場になってほしい。

子どもの放課後や休日の居場所への期待が最も多く挙げられました。また、親が安心して見守れる環境や、高齢者を含む多世代が関わることで自然な交流や見守りが生まれる場としての役割も期待されています。

一方で、利用者年齢や利用目的の違いから自宅付近の公園を利用する等の使い分けがされていることがわかりました。

シニア世代（いきいき百歳体操・野菜市利用者）

【エキマエアキチについて】（自由記述ジャンル分け）



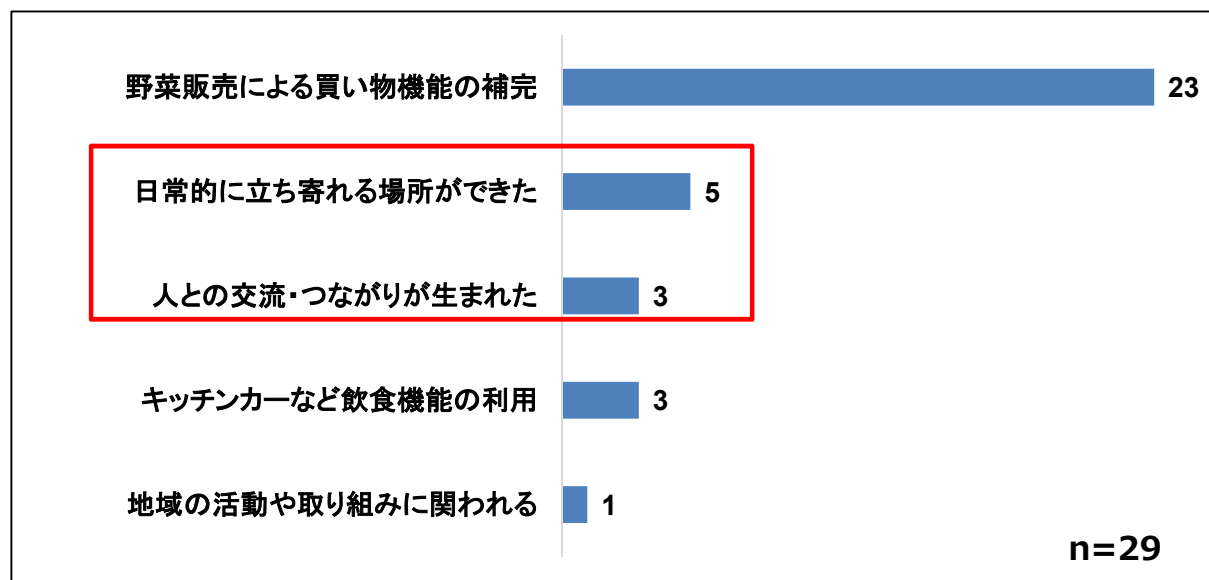
主な意見

- ・ 野菜市を使っている。ありがたい。
- ・ 子どもで賑わっていて良い場所
- ・ いつ見ても子どもがいるためいい場所なのではと思う。
- ・ 交流が生まれる拠点になっている。今までになかった場所だ。

野菜市やいきいき百歳体操など、日常利用につながる機能をきっかけに、高齢者を含む地域住民の利用が見られました。
また、子どもや多世代が集まる様子が、**センター地区の新たなにぎわいとして評価**されています。

シニア世代（いきいき百歳体操・野菜市利用者）

【ここに来てよかったこと】（自由記述ジャンル分け）



主な意見

- ・野菜市を使っている。ありがたい。
- ・子どもで賑わっていて良い場所
- ・いつ見ても子どもがいるためいい場所なのではと思う。
- ・交流が生まれる拠点になっている。今までになかった場所だ。

フローラ88閉店後に野菜販売など日常生活に関わる機能を導入したことで、地域住民がセンター地区へ訪れるきっかけとなりました。また、主な意見から、買い物を通じた会話や交流が生まれ、単なる販売の場ではなく、**人が集まりつながる場**として機能していると考えられます。

放課後学び堂「DigDig」



DigDig

面白い大人から学ぶ「探究学習」

放課後の新しい居場所

月曜日・水曜日

きっかけ

三田市が過去実施していた海外プログラムに参加したことで「体験・経験」の大切さを実感し、これを子どもたちにも伝えていきたいと考えようになった。

「体験や経験は人生の選択肢を広げる」という思いから、人博に放課後の時間を活用したセミナーの実施を依頼していた。

そうした中で、エキマエアキチでの社会実験が始まり、digdig を始めることになった。

成果

放課後の子どもたちに「居場所」を提供できており、そこが「交流」の場にもなっている。

共働き家庭が多く、家でひとりゲームをして過ごす子どもも少なくないが、実際には子どもたちも「誰かと交流したい」と感じている。ここでは、名前も知らなかった子同士が自然と仲良く遊ぶ様子が見られる。また、各セミナーの先生方のお話は、それぞれの趣味や特技が子どもたちにとっての「すごい！」に変わり、貴重な経験や体験となっている。こうした人と人とのつながりを通じて、子どもたちの世界が広がっている。さらに、登壇してくれた先生方が知り合いを講師として紹介してくれることで、交流の輪も広がりつつある。

その他

フラワータウンには他にはない「人博」がある。この施設を使って子ども達にもっと経験や体験を与えていきたい。

ひまわりの森



ひまわりの森

学習支援・不登校支援

地域のセーフティネット

金曜日

きっかけ

10年前に狭間にある自宅で不登校支援の「ひまわりの森」を始めた。6畳の部屋であり、多いときは10人以上の利用者がいた。部屋の容量的に限界を感じており、辞めようと思っていた。その時に社会実験が始まり、エキマエアキチでの活動を開始した。

成果

今まで三田市には、エキマエアキチのひまわりの森のように不登校について気軽に相談する場所がなかった。市役所や学校には以前からあったが、敷居が高くなかなか利用されていなかった。このような不登校の子どもだけでなく、その親にも居場所を作れたのは成果である。小学1年生から高校生まで幅広い世代が利用している。学校にはなじめていないが、ここでは年上が面倒を見て、下の子はその年上を慕っている。コミュニケーションの訓練の場を提供できている。

その他

不登校の支援が、今のエキマエアキチの様な形態が良いのかは分からない。
エキマエアキチの様な開けた環境（多くの人の目に触れる可能性の高い場所）について
・保護者にとっては、気軽に相談に行きやすい環境であり、ふらっと立ち寄ることができる理想的な環境である。保護者からは、以前のように個人の家でやっていると事前に往訪する日程を調整する必要があるなど気軽に相談に行きづらいという話もあった。
・子どもにとっては、この場所は開けすぎており人の目に多く触れてしまう可能性があるため、利用のハードルが上がっている。取り組み実施中はロールカーテンを閉めて欲しいと頼んでくる子もいる。
⇒子どもたちにとって行きやすい場所であり、かつ保護者にとっても利用しやすい環境を用意できたら良いのかもしれない。

喫茶プシュケー



喫茶プシュケー

「喫茶を装った相談場所」

日常の悩みや課題を解消する

心の保健室

水曜日

きっかけ

PUB・ツチ（人博の勉強会）に参加した際に自分もやってみたいと思った。
以前より、行政や医療サービスが届きにくいお客様とお話をしたり、地域の方が交流するお店の様なものをやりたいと考えており、エキマエアキチの社会実験が始まったことで活動を開始した。

成果

一番の成果は、多くの人と繋がることのできた点である。プシュケーをきっかけに、交流の場が広がった。

開始当初は、エキマエアキチやプシュケーの存在がまだ認知されておらず、集客に苦労した。しかし途中から、ワークショップを併せて実施するようになったことで、さまざまな人と繋がることのできた。ワークショップの参加者からは満足の声も多く、口コミでその輪が広がっている。この“繋がり”の輪が広がっていることこそが、何よりの成果だと感じている。

その他

利用者のハードルを下げるために喫茶店という形をとっているが、喫茶店の経験や知識がない中ではリスクが高いため、まずは社会実験として実施できていることは助かっている。

イベント主催者

主催イベント：とっておきの音楽祭（来場者数1,500人）



きっかけ

3歳からFTに住んでおり、結婚して北区に移住したが、ほぼ毎日富士の実家に来ている。昨年、「まちづくりプレーヤー発掘・育成事業」に参加しその中でCOMS担当者と出会いエキマエアキチのことを知った。野外でイベントを開催したいと考えていたため、主催するようになった。

成果

イベントを主催することで、今までFTに来ることが無かった層を呼び込むことができ、FTにかかわりがある者としてはうれしかった。また、主催したイベントは2回とも福祉よりの内容（バリアフリーの音楽祭、貧困世帯サポート）であり、**どんな人でも楽しめる場を作れたのは大きな成果である。**

その他

よくある室内のみのレンタルスペースではないところが大きい。子育て世帯にとって外でも中でも遊べる「ヒロバ」の存在は大きい。イベントも同様に開催しやすい。

あきちらいぶらりー登録者



あきちらいぶらりー

私設図書館

登録パートナーがWSや物販を

行う自己実現と交流の場

2階・月曜日～金曜日

きっかけ

n=11

- ・ 88文庫で知った。
- ・ 88文庫もオーナー登録していてあきちらいぶらりーでも交流の場として利用したいと思った。
- ・ フローラ88のチャレンジショップがなくなったため。
- ・ やってみたいワークショップに参加。
- ・ 88チャレンジ(フローラ88のチャレンジショップ)の時にらいぶらりーパートナーに誘ってもらったから。
- ・ 笑いヨガの事を知ってもらいたくて。

成果

- ・ 放課後毎日利用しており、友達と一緒に宿題をできる場所ができた。ここができる前は、フローラ88、シニアユース広場を利用していた。
- ・ ここにきて色んな大人と知り合えた。
- ・ 人が少しずつ興味をもってこられている。知り合った人に自分の取組みを伝えてる。雑貨に関してはこれからの広報次第だと思う。
- ・ 友達や、知り合いが増えた。
- ・ カフェ(簡易)をすることになった。
- ・ 利用者のほとんどが知人で何をしているか分かった上できてくれる。一度こられた方は居心地の良さを分かっていただけと感じる。
- ・ Instagramをみて体験にこられたり、あきちらいぶらりーの見学に来て体験をしてもらったりなど新しく出会えた方にも楽しんでもらえる嬉しい。
- ・ お客様がきやすいようで、きてくれて購入してくれる。
- ・ 固定客がついた。

あきちらいぶらりー登録者



あきちらいぶらりー

私設図書館

登録パートナーがWSや物販を

行う自己実現と交流の場

2階・月曜日～金曜日

その他

- ・あきちらいぶらりーを運営するCOMS担当者は多くの人を知っていて、担当者を通じて色んな大人と仲良くなれる。
- ・企画している会社がしっかりしており、コンサートなど色々なイベントを開催してくれて嬉しい。(ひらくマーケット)
- ・COMSの皆様がいるため。料金も手ごろ。
- ・利用料金の手軽さ。徒歩の範囲。スタッフ様々が親切。
- ・やる気。
- ・人脈、ネットワーク。
- ・車生活でない人も来れる場所。
- ・利用料金が大変安くありがたい。親しい人達と楽しく活動ができる。
- ・場所が良いから助かっている。
- ・利用料金がやすいので出店しやすい。お客さんも来やすい場所。

今後の場所に対する期待

- ・道沿のに木陰(パーゴラ)でイベント(トライアルショップなど)出来るようにして欲しい。
- ・ずっとやっていきたいので続けて欲しい。
- ・植物園の温室みたいなおしゃれカフェ。フードコート。夏まつり(盆でなくてもいいけど)
- ・2階への誘導看板等の設置。
- ・活性化、静かなスペースも必要。
- ・駐車場が利用しやすいと出店側も利用者側ももっと集まってきやすいと思う。利用者割引、特典などがあれば嬉しい。
- ・駐車場が利用者、お客様がとめやすくなればいろんな人が来やすくなると思う。
- ・駐車場出店者無料。無料時間を30分より長くして欲しい。
- ・駐車場割引があると嬉しい(出店者、お客様ともに)

エキマエベース利用者まとめ

【活動主体からみたエキマエアキチの効果】

□社会実験プログラム実施主体

- ・場所や運営環境が用意されたことで、不登校支援、学び、相談など、個人では始めにくい活動ができた。
- ・活動を通じて、**子どもの居場所や体験を提供**できた。

□イベント主催者

- ・イベントの主催を通じて、**地域との関わりが深まり**、活動を実現できた。

□あきちらいぶらりー参加者

- ・**低廉な利用料や運営者の存在**が、活動を始めるハードルを下げた。
- ・新たな出会いや、活動の認知、内容を試す機会につながった。

低コストで柔軟に利用できる場所に加え、活動の立ち上げを支援し、**主体同士や地域をつなぐ運営者の存在**によって、新たな活動を試し、広げる場として機能している様子が見られました。

後期ヒアリング

【実施期間】

令和8年2月から令和8年3月

【実施目的】

エキマエアキチの社会実験開始から約1年が経過した時点での利用状況や評価、今後求められる機能などを把握するため、利用者及び非利用者を対象にヒアリング調査を実施しました。

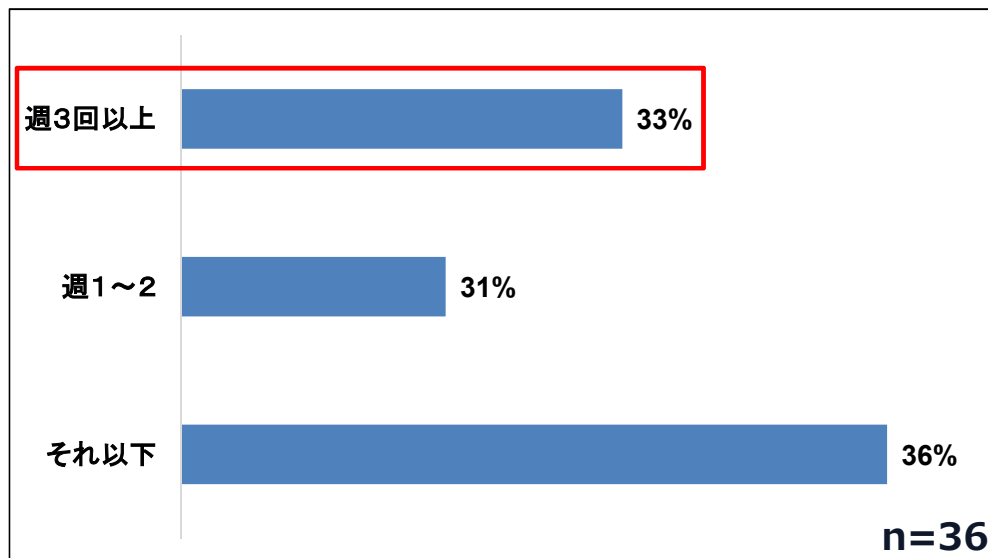
【ヒアリング対象者】

- ・若者世代（スポーツパーク・ハラッパーク利用者）：36人
- ・子育て世帯（エキマエアキチ利用者）：27人
- ・大人・シニア世代（スポーツパーク・ハラッパーク利用者）：4人
- ・エキマエベース利用者（社会実験プログラム・あきちらいぶらりー利用者）：13人
- ・FT内小学校・中学校：78人（保護者39人、生徒39人）

計154人

若者世代（スポーツパーク・ハラッパーク利用者）

利用頻度



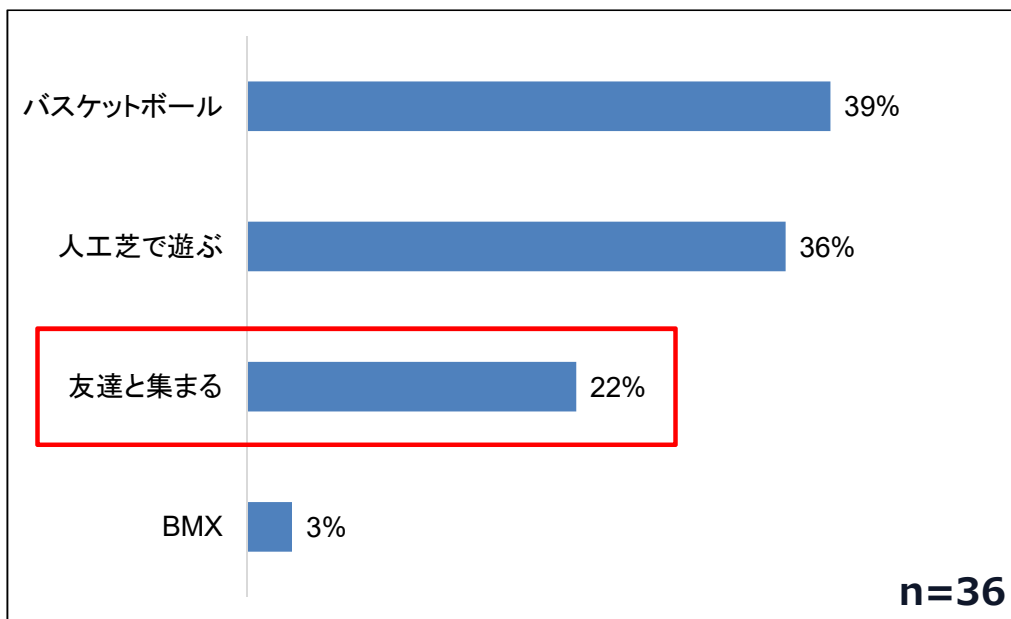
週1回以上利用する人が64%を占めました。

エキマエアキチが一時的な遊び場ではなく、**放課後に繰り返し訪れる日常的な居場所**として定着していたことがうかがえます。

高頻度で利用する若者も多く、**継続的な滞在や交流を支える場として機能**したと考えられます。

若者世代（スポーツパーク・ハラップーク利用者）

学生の主な利用目的



スポーツをすることに加え、友達と会い、一緒に過ごすことも利用の目的となっていました。

このことから、スポーツパークは単なる運動の場にとどまらず、スポーツをきっかけに若者が集まり、**日常的な交流が生まれる場として機能**していたと考えられます。

大人・シニア世代（スポーツパーク・ハラップーク利用者）

来訪目的

大人・シニア層の4人に3人が「交流」を重視していました。

若い世代の活気に刺激を受けることで、自身の価値観が再構築される心理的メリットを感じており、「自由な空気感」についても高く評価されています。

エキマエアキチ について

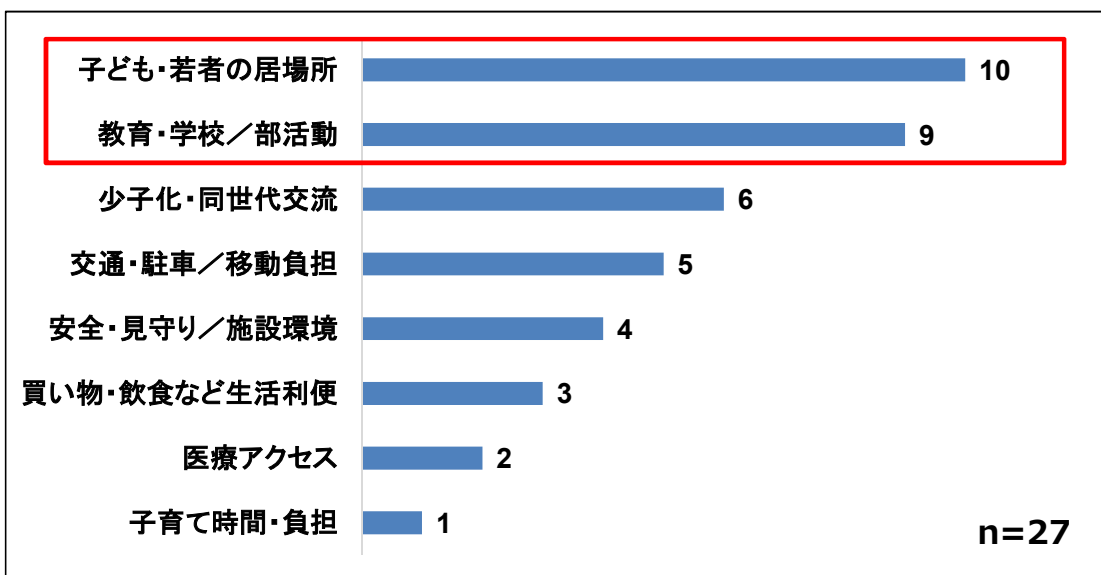
マルシェや飲食、さまざまな活動が日常的に行われる常設的な拠点への期待が寄せられました。

また、開かれた空間でありながら大人の目が届く安心感が評価されており、子どもの遊びや若者の学びをシニア世代が緩やかに見守る、多世代の「相互支援の場」としての可能性が示されました。

n=4

子育て世帯（エキマエアキチ利用者）

【不安・課題について】（自由記述ジャンル分け）



主な意見

- ・ 中学校からの部活動が地域クラブに完全移行することが、とても不安
- ・ いろいろなことを学んだり、一緒に何かをする経験が減らないか心配
- ・ 小学校高学年から高校にかけて一気に「外での居場所」が無くなる
- ・ 地域クラブへの移行はメリットもあるのだろうが、そうでない子供たちの放課後の過ごし方が不安

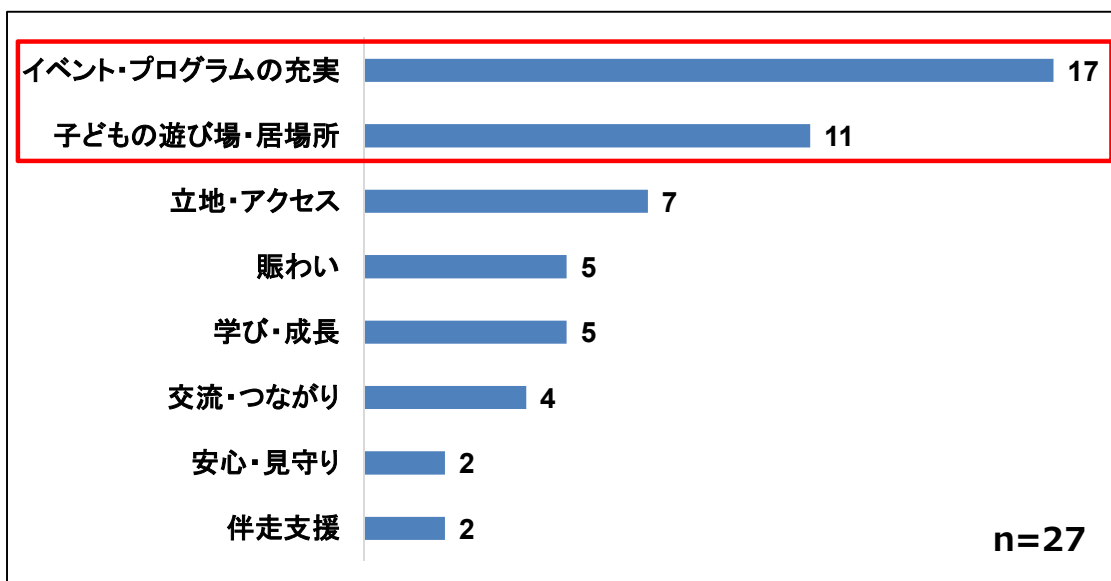
子ども・若者の居場所不足と、教育・部活動に対する不安が多く挙げられました。

特に、小学校高学年以降の放課後の過ごし方や、交流の機会が減少することへの懸念が大きくなっています。

子どもや若者が日常的に集まり、安心して活動できる場を確保することが、今後の重要な課題であると考えられます。

子育て世帯（エキマエアキチ利用者）

【エキマエアキチでよかったこと】（自由記述ジャンル分け）



主な意見

- ・誰でもイベントの企画を出せる（COMS伴走）ことや、若い活動者が参加しやすいというのは、通常の公園にはない大きな魅力だったと思う。
- ・気軽に立ち寄れる場所や子供が遊べる空間が駅前にあることは安心感があり助かっています。
- ・他の学年の子どもたちと関われる、普段関わらない大人とも交流できるのに、とても魅力を感じています。
- ・子どもが安全に学べて、集える場所があるのはとてもありがたい

イベントやプログラムの充実と、子どもの遊び場・居場所としての機能が多く挙げられました。これらの機能により、子育て世帯が日常的に立ち寄る機会が生まれ、センター地区の賑わいや地域の交流にもつながっていることがわかります。

また、安全に過ごせる環境や多様な学び・体験の機会も評価されており、エキマエアキチが**子どもの居場所と活動の拠点**の両方の役割を果たしたことがわかります。

社会実験プログラム実施主体

活動について

全てのプログラムで前期に比べ利用者や活動量が増えました。

駅前の分かりやすい場所で活動が見えることで、子どもやボランティアの新たな参加、他地域の活動者との交流につながったと回答しています。

エキマエアキチ について

学習、スポーツ、ライブラリーなどの異なる活動が同じ場所で行われることで、参加者や活動内容が広がりました。また、開かれた空間が子どもや活動者の安心感につながり、子ども自身が過ごし方やルールを考える場面も生まれたと回答しています。

回答からは、開かれた空間で活動の様子が見えることで、新たな参加や関わりが生まれ、取り組みの継続と広がりにつながっていることがわかります。

あきちらいぶらりー登録者

n=8

活動について

前期以降、継続して参加する利用者が増えたことや、経験を重ねることで企画内容が充実し、有料ワークショップの実施につながったと回答しています。

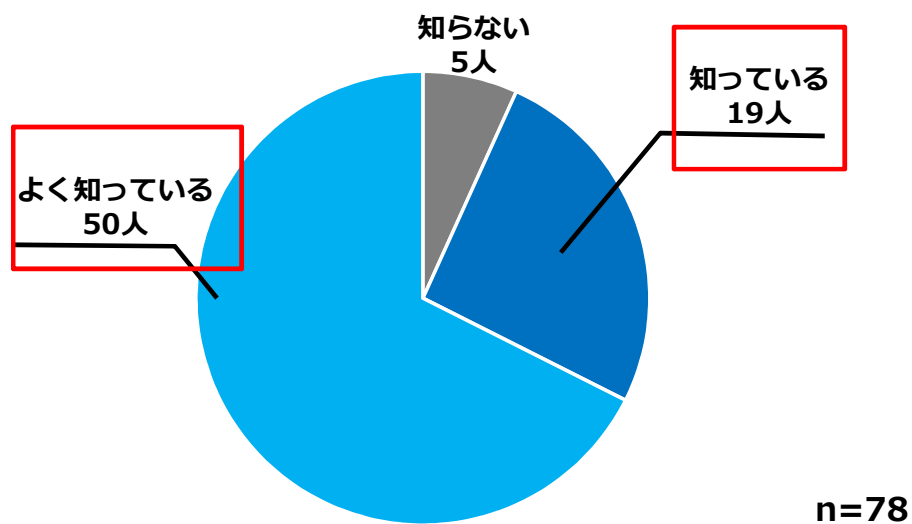
エキマエアキチについて

あきちライブラリーで活動することで、人との出会いや参加者同士の交流、やりがいや達成感、自信、安心感が得られたと回答しています。また、利用料金の負担が少なく、運営者（COMS）に相談できる環境が、活動を続ける支えになったと回答しています。

回答からは、利用料の負担が少なく、運営者（COMS）に相談できる環境により、個人が小さく活動を始め、人とのつながりや自信を得ながら継続できる場として機能していることがわかります。

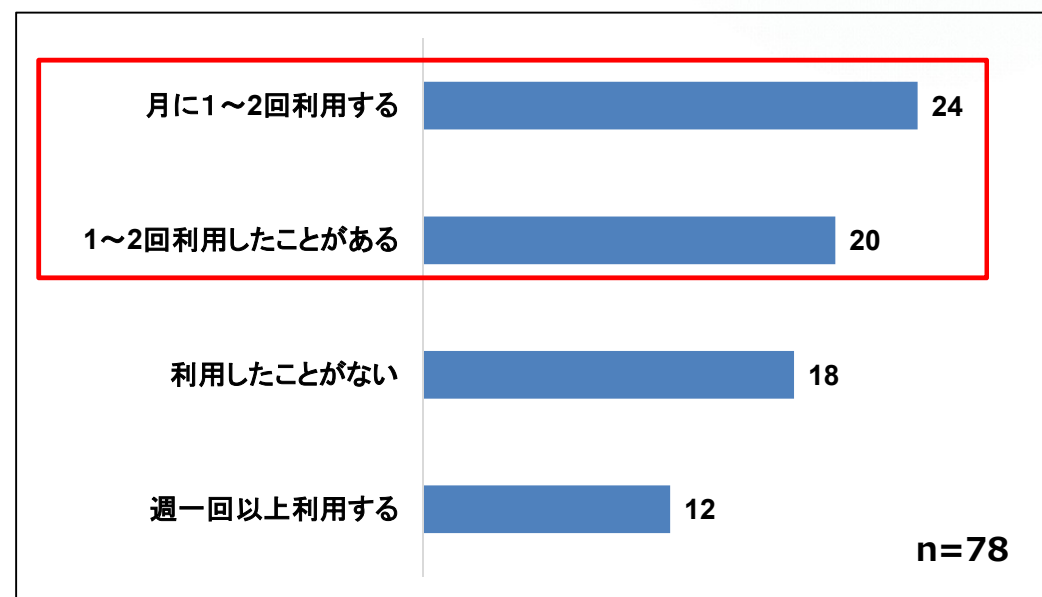
学校へのアンケート調査（学生・保護者）

【エキマエアキチを知っているか】（選択）



「よく知っている」が68%、「名前は知っている」を含めると93%に達し、地域内での認知が進みました。

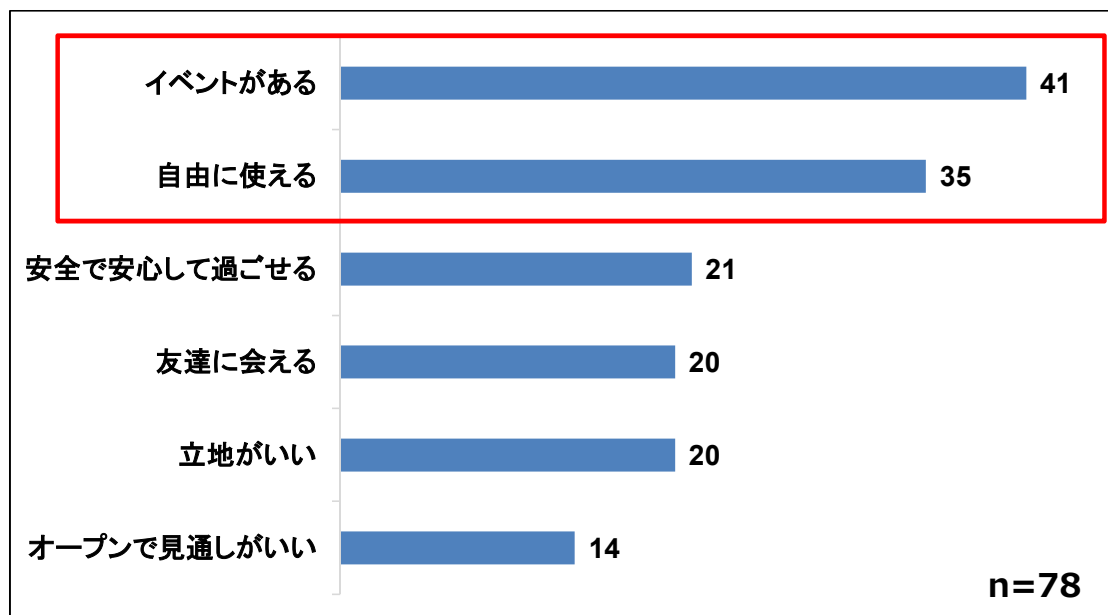
【エキマエアキチの利用状況】（選択）



「週一回以上」と「月に1～2回程度」を合わせると、約半数が継続的に利用しています。

学校へのアンケート調査（学生・保護者）

【エキマエアキチの良いところ】（選択）



イベントがあることに加え、自由に使えることが高く評価されました。

イベントに参加する場所としてだけでなく、日常的に立ち寄り、友だちと会ったり、安心して過ごしたりできる居場所として評価されています。

また、駅前の立地と開かれた見通しの良い空間が、学生や保護者にとって利用しやすい環境につながりました。

運営者（COMS）へのヒアリング

活動をコーディネートし、主体者の伴走支援を担った㈱北摂コミュニティ開発センター（COMS）の担当者にヒアリングを実施しました。

Q. エキマエアキチの成果について

- ・自由に使える居場所や、誰でもイベント・ワークショップを開催できる環境を整えたことで、行政や運営者の発意だけではなく、**多様な取り組みが生まれた**ことを成果として捉えている。
- ・エキマエアキチで行われている活動が外からも見えることで、参加者や利用者から新たな取り組みが生まれ、**活動や賑いが循環し、持続的なものになった**ことが最も大きな成果だと感じている。

回答から、**利用の自由度と活動の見える化**が、新たな担い手の参入を促し、活動が次の活動を生む**循環**につながっていたことがうかがえます。